

令和元年度 社会福祉法人幸田町社会福祉協議会事業報告

幸田町地域福祉計画・地域福祉活動計画の基本理念「支え合い ともに生きる まちづくり（一人一人が自立し、人とつながり、お互い様をひろげよう）」の実現を目指すとともに、社会福祉協議会の社会的役割を再認識し、様々な事業活動に取り組みました。

令和元年度は、第2期幸田町地域福祉計画・地域福祉活動計画の策定作業を進める中で改めて地域の福祉課題の洗い出しや課題解決に向けた検討等を地域住民、関係機関とともに進めてまいりました。

地域福祉活動支援部門では、地区ふくし委員会の設置に向けて生活支援コーディネーターが地域や関係機関への働きかけを積極的に行うとともに、既存の地域福祉活動に対して金銭的支援、人的支援を継続し地域福祉活動の推進、発展に努めました。

福祉サービス利用支援部門では、地域包括支援センターや障害者相談支援事業等の受託事業を中心に介護や障害が重度化しないための予防的なアプローチや自立支援を目指すケアマネジメント等を行いました。また、成年後見支援センターでは法人後見受任に向けた体制整備を行い、認知症高齢者や障がいのある人が安心して暮らせる地域づくりを目指しました。令和2年3月下旬には、新型コロナウイルスの影響によって経済的に困窮した人に対し、迅速な貸付の対応を行いました。

各種事業を推進するため、事業実施に伴う規則等の整備を進め、組織のガバナンスの強化、事業運営の透明性の向上、財務規律の強化、職員の資質向上等に努めてまいりました。

1 役員会等の開催状況

(1) 理事会開催状況

| 令和元年度第1回理事会 | |
|-----------------|------------------------------------|
| 開催日 令和元年6月5日（水） | |
| 議案番号 | 議案名 |
| 第1号議案 | 平成30年度社会福祉法人幸田町社会福祉協議会事業報告について |
| 第2号議案 | 平成30年度社会福祉法人幸田町社会福祉協議会資金収支決算について |
| 第3号議案 | 令和元年度社会福祉法人幸田町社会福祉協議会定時評議員会の招集について |

| 令和元年度第2回理事会 | |
|------------------|--------------------------------|
| 開催日 令和元年6月21日（金） | |
| 議案番号 | 議案名 |
| 第4号議案 | 社会福祉法人幸田町社会福祉協議会会長及び副会長の選定について |
| 第5号議案 | 社会福祉法人幸田町社会福祉協議会顧問の委嘱について |

| 令和元年度第3回理事会 | |
|-----------------|------------------------------------|
| 開催日 令和2年3月5日(木) | |
| 議案番号 | 議案名 |
| 第6号議案 | 社会福祉法人幸田町社会福祉協議会給与規則の一部改正について |
| 第7号議案 | 令和2年度社会福祉法人幸田町社会福祉協議会事業計画について |
| 第8号議案 | 令和2年度社会福祉法人幸田町社会福祉協議会資金収支当初予算について |
| 第9号議案 | 令和元年度社会福祉法人幸田町社会福祉協議会3月評議員会の招集について |

(2) 評議員会開催状況

| 令和元年度定時評議員会 | |
|------------------|----------------------------------|
| 開催日 令和元年6月20日(木) | |
| 議案番号 | 議案名 |
| 第1号議案 | 神尾義貴を理事に選任することについて |
| 第2号議案 | 鈴木富雄を理事に選任することについて |
| 第3号議案 | 足立和彦を理事に選任することについて |
| 第4号議案 | 近藤静香を理事に選任することについて |
| 第5号議案 | 太田二郎を理事に選任することについて |
| 第6号議案 | 沢田弘子を理事に選任することについて |
| 第7号議案 | 山本忠志を理事に選任することについて |
| 第8号議案 | 大嶽弘を監事に選任することについて |
| 第9号議案 | 齋藤正敏を監事に選任することについて |
| 第10号議案 | 平成30年度社会福祉法人幸田町社会福祉協議会事業報告について |
| 第11号議案 | 平成30年度社会福祉法人幸田町社会福祉協議会資金収支決算について |

| 令和元年度3月評議員会(決議の省略) | |
|------------------------------|-----------------------------------|
| 決議があったものとみなされた日 令和2年3月18日(水) | |
| 議案番号 | 議案名 |
| 第12号議案 | 令和2年度社会福祉法人幸田町社会福祉協議会事業計画について |
| 第13号議案 | 令和2年度社会福祉法人幸田町社会福祉協議会資金収支当初予算について |

(3) 監査会開催状況

| |
|--|
| 令和元年度監査会 開催日 令和元年5月23日(木) |
| 監査内容 |
| 平成30年度社会福祉法人幸田町社会福祉協議会事業報告 平成30年度社会福祉法人幸田町社会福祉協議会資金収支決算 |

2 令和元年度の主な取り組み

(1) 法人運営部門

ア 経営基盤の確保

自主財源や公費財源を安定的に確保し、地域に開かれた組織体制を確立できるよう、ホームページ上に財務諸表を公表しました。また、会費や共同募金配分金の使い道を広報誌やホームページ上で公開し、使途の明確化や透明性の確保に努めました。

| 自主財源 | 令和元年度 | 平成30年度 | 平成29年度 |
|-----------|-----------------------|-----------------------|-----------------------|
| 会費収入 | 3,363,800円 | 3,295,500円 | 3,289,400円 |
| 一般会員 | 9,100世帯 2,730,000円 | 9,061世帯 2,718,500円 | 8,971世帯 2,691,400円 |
| 賛助会員 | 81人 204,000円 | 75人 191,000円 | 82人 206,000円 |
| 特別会員 | 101事業所 429,800円 | 91事業所 386,000円 | 89事業所 392,000円 |
| 寄附金収入 | 1,647,966円 | 1,916,057円 | 1,780,148円 |
| 共同募金配分金収入 | 4,196,925円 | 4,050,983円 | 3,977,845円 |
| 計 | 9,208,691円 | 9,262,540円 | 9,047,393円 |

イ 職員の資質向上

職種別、サービス別の研修へ積極的に参加させるとともに、相談への対応力向上のため内部研修や勉強会を実施しました。

| 内容 | 令和元年度 | 平成30年度 | 平成29年度 |
|------|-------|--------|--------|
| 外部研修 | 107回 | 106回 | 101回 |
| 内部研修 | 9回 | 7回 | 7回 |

(2) 地域福祉活動推進部門

ア 福祉教育の推進

次世代の人材育成のため、小中高等学校における福祉教育を推進しました。

| 内 容 | 令和元年度 | 平成 30 年度 | 平成 29 年度 |
|---------------------|-------------------|-------------------|-------------------|
| 社会福祉協力校の委嘱 | 10 校 | 10 校 | 10 校 |
| 福祉実践教室 | 10 回 【実施校 9 校】 | 12 回 【実施校 9 校】 | 13 回 【実施校 9 校】 |
| 青少年ボランティア福祉体験 学習 | 189 人 | 212 人 | 259 人 |

イ 地域でのサロンやサークル活動への支援

多くの住民が気軽に参加できるようにプログラムの提案や情報提供を行いました。代表者研修では、サロンで実践できる認知症予防のトレーニングや工作の講座を開催しました。

| 内 容 | 令和元年度 | 平成 30 年度 | 平成 29 年度 | |
|--------|---------|----------|----------|------|
| 団体数 | 26 団体 | 28 団体 | 27 団体 | |
| サロン開催数 | 511 回 | 578 回 | 574 回 | |
| 延べ参加者数 | 8,075 人 | 8,842 人 | 9,483 人 | |
| 代表者研修 | 開催数 | 2 回 | 1 回 | 2 回 |
| | 延べ参加者数 | 73 人 | 27 人 | 67 人 |

ウ ボランティアセンターの機能充実

ボランティアに関する相談を随時受け付け、ボランティアを求める個人及び団体、施設等とボランティア活動者の派遣調整を行いました。ボランティア講座は高齢者疑似体験サポーター養成講座を開催しました。

| 内 容 | 令和元年度 | 平成 30 年度 | 平成 29 年度 | |
|----------|---------------|------------------|------------------|------------|
| ボランティア相談 | 29 回 | 30 回 | 37 回 | |
| 登録数 | 団体 【468 人】 | 40 団体 【570 人】 | 40 団体 【576 人】 | |
| | 個人 | 2 人 | 6 人 | 6 人 |
| ボランティア講座 | 開催数 | 1 回 | 1 回 (2 日間) | 1 回 (2 日間) |
| | 延べ参加者数 | 5 人 | 22 人 | 19 人 |

エ 災害に対する備え

平成 26 年度から平成 28 年度までに養成された災害時ボランティア支援本部運営スタッフ登録者に対し、町の総合防災訓練への参加を促し、災害時ボランティア支援本部の設置訓練及び互いに役割分担等の業務を体験する実践訓練を行いました。

オ 福祉車両・福祉用具の貸出

一時的に福祉用具が必要な人への貸出や地域行事等へのレクリエーション用具の貸出を行いました。

| 内 容 | | 令和元年度 | 平成 30 年度 | 平成 29 年度 |
|------------|----|-------|----------|----------|
| 福祉車両 | | 188 回 | 141 回 | 135 回 |
| レクリエーション用具 | | 117 回 | 134 回 | 130 回 |
| 災害用物品 | | 118 回 | 101 回 | 81 回 |
| 福祉用具等 | | 125 回 | 149 回 | 96 回 |
| 福祉用具リ | 譲受 | 0 件 | 0 件 | 2 件 |
| サイクル | 譲渡 | 0 件 | 0 件 | 2 件 |

カ 福祉実践活動者への費用助成

ふくしの町づくり推進事業として、高齢者スポーツ指導者及び資源回収事業報奨金の助成を行いました。

キ 福祉 6 団体事務局の運営、活動支援

老人クラブや障がい者団体等、各種福祉団体の事務局を運営し、地域活動の調整を行いました。また、福祉団体の自主運営化に向けて積極的に情報提供や活動内容の提案を行いました。

ク 広報活動

社協広報誌「ともに生きる」を年 4 回発刊しました。また、ホームページでタイムリーな情報の発信に努めました。

ケ 赤い羽根共同募金配分金の有効活用

福祉団体、サロン、保育所等へ活動費の助成を行い、団体等の活動支援及び配分金の有効活用に努めました。

コ 総合事業への取り組み

幸田町が実施する生活支援体制整備事業を推進するために生活支援コーディネーターを配置し、サービス検討会の開催、地域での研修会の開催、情報提供等を行いました。地域福祉活動への機運が高まった一部地域に対しては、ふくし委員会設置に向けた支援を行いました。

(3) 福祉サービス利用支援部門

ア 地域包括支援センターの受託

地域包括ケアシステムの構築に向けて、相談支援や介護予防サービス等の支援を包括的かつ継続的に提供しました。また、介護予防・日常生活支援事業（以下「総合事業」という）における基本チェックリストの実施や介護予防ケアマネジメント業務に加え、認知症総合支援事業の一環として、認知症カフェの開催など認知症の方やその家族の支援事業を実施、普及事業及び認知症初期集中支援チーム事業についても取り組みました。その他、幸田町介護サービス事業者連絡協議会の運営支援、地域の関係者とのふくし座談会の開催など関係機関との連携、協議等にも努めました。

| 内 容 | | 令和元年度 | 平成 30 年度 | 平成 29 年度 |
|------------------------|--------|----------------------------|----------------------------|----------------------------|
| 総合相談支援事業 | | | | |
| 総合相談 | | 2,118 件 | 1,917 件 | 1,142 件 |
| 基本情報管理（実態把握件数） | | 201 件 | 208 件 | 1,406 件 |
| 権利擁護業務 | | 204 件 | 117 件 | 145 件 |
| 高齢者虐待への対応 | | 46 件 | 79 件 | 56 件 |
| 消費者被害への対応 | | 0 件 | 2 件 | 0 件 |
| 成年後見制度の利用支援 | | 5 件 | 3 件 | 3 件 |
| 他の困難事例 | | 153 件 | 61 件 | 58 件 |
| 包括的・継続的ケアマネジメント支援業務 | | | | |
| ケアマネ部会（幸介連） | | 5 回 | 6 回 | 6 回 |
| ケアマネ支援 | | 309 件 | 195 件 | 228 回 |
| 地域ケア会議 | | 7 回 | 6 回 | 9 回 |
| ふくし座談会 | | 6 会場 | 6 会場 | 6 会場 |
| 介護予防ケアマネジメント業務 | | 3,128 件 | 3,036 件 | 3,035 件 |
| 指定介護予防支援計画作成 【うち委託】 | | 1,814 件 【550 件】 | 1,694 件 【549 件】 | 2,091 件 【954 件】 |
| 介護予防ケアマネジメント 【うち委託】 | | 1,314 件 【250 件】 | 1,342 件 【329 件】 | 944 件 【273 件】 |
| 認知症施策の推進 | | | | |
| 認知症介護家族 交流会 | 開催数 | 11 回 | 12 回 | 12 回 |
| | 延べ参加者数 | 32 人 | 40 人 | 60 人 |
| 認知症カフェ | カフェ名称 | カフェまどか 喫茶ふでかき フェリシーテ | カフェまどか 喫茶ふでかき フェリシーテ | カフェまどか 喫茶ふでかき フェリシーテ |
| | 延べ開催数 | 3 施設 20 回 | 3 施設 21 回 | 3 施設 12 回 |
| | 延べ参加者数 | 62 人 | 68 人 | 85 人 |

| | | | | | |
|-------------------------|-----------------|--------|-----------------|--------------------|--------------------------|
| | 認知症初期集中 | 対象者人数 | 延べ 24 人 | 2 人 | 1 人 |
| | 支援チーム | 訪問・会議 | 28 回 | 13 回 | 21 回 |
| 一般介護予防事業 | | | | | |
| 介護・健康出前講座 | | 開催回数 | 27 回 | 24 回 | |
| | | 延べ参加者数 | 513 人 | 449 人 | |
| 介護 予 防 教 室 | シニア元気 アップ教室 | 開催回数等 | 2 コース 延べ 24 回 | 3 コース 延べ 36 回 | |
| | | 延べ参加者数 | 271 人 | 354 人 | |
| | からだメンテ ナンス教室 | 開催回数等 | 2 コース 延べ 23 回 | 2 コース 延べ 24 回 | |
| | | 延べ参加者数 | 264 人 | 281 人 | |
| | 脳の健康 教室 | 開催回数等 | 2 コース 延べ 36 回 | 2 コース 延べ 24 回 | |
| | | 延べ参加者数 | 257 人 | 307 人 | |
| げんきかい | | 地区数 | 6 地区 | 6 地区 | 6 地区 |
| | | 開催数 | 60 回 | 66 回 | 63 回 |
| | | 延べ参加者数 | 973 人 | 1,316 人 | 1,351 人 |
| いきいき元気サポータ ースキルアップ研修 | | 開催数 | 3 回 | 2 回 | 2 回 |
| | | 延べ参加者数 | 80 人 | 80 人 | 43 人 |
| いきいき元気サポ ーター養成講座 | | 開催数 | 1 回 (3 日間) | 1 回 (4 日間) | 1 回 (4 日間) |
| | | 延べ参加者数 | 48 人 | 44 人 | 49 人 |
| 介護予防ボラン ティア研修会 | | 開催数 | スキルアップ研修 1 回 | 養成講座 1 回 (4 日間) | フォローアップ 研修 1 回 (4 日間) |
| | | 延べ参加者数 | 21 人 | 43 人 | 133 人 |

イ 権利擁護への取り組み

愛知県社協から日常生活自立支援事業を受託し、認知症高齢者や障がいのある人に対して福祉サービスの利用支援等を行いました。また、幸田町から成年後見支援センターの運営を受託し、成年後見制度の広報・啓発や住民からの相談、関係機関との連絡調整等を実施しました。

| 内 容 | 令和元年度 | 平成 30 年度 | 平成 29 年度 |
|-----------------|---------|----------|----------|
| 日常生活自立支援事業 | 延べ 13 件 | 延べ 13 件 | 延べ 7 件 |
| 司法書士による法律困りごと相談 | 33 件 | 26 件 | 23 件 |
| 成年後見支援センター事業 | | | |
| 相談及び手続き | 26 件 | 38 件 | 16 件 |
| 広報・啓発活動 | 3 件 | 3 件 | 5 件 |
| 親族後見等への支援 | 1 件 | 2 件 | 1 件 |
| 法人後見の受任への準備体制 | 3 件 | 5 件 | 4 件 |

| | | | | |
|--|--------------|----|----|----|
| | 関係機関との連絡調整 | 7件 | 7件 | 6件 |
| | 専門職団体への依頼 | 2件 | 5件 | 2件 |
| | 当事者団体等との連絡調整 | 5件 | 2件 | 4件 |
| | 運営委員会等の開催 | 4回 | 3回 | 1回 |

ウ 各種貸付事業の実施

生活困窮者へ一時的な生活資金の貸付を実施するとともに、民生委員と連携しながら必要な相談支援を行いました。また、訪問調査や住民票調査、連帯保証人への督促等を実施し、償還指導體制の強化に努めました。

| 内 容 | | 令和元年度 | 平成 30 年度 | 平成 29 年度 |
|-----|---------|-------|----------|----------|
| 相談 | | 28件 | 26件 | 36件 |
| 貸付 | 生活福祉資金 | 16件 | 18件 | 15件 |
| | たすけあい資金 | 17件 | 25件 | 17件 |

エ 障がいのある人に対する相談支援

幸田町から障害者相談支援事業を受託し、障がいのある人に対する総合相談や幸田町地域総合支援協議会の専門部会の運営、ピアカウンセリング（にじカフェ）等を行いました。また、指定相談支援事業所としてサービス等利用計画等の作成を行いました。

| 内 容 | | 令和元年度 | 平成 30 年度 | 平成 29 年度 |
|---------------|--------------|-------|----------|----------|
| 総合相談 | | 326件 | 311件 | |
| 専門部会の開催 | | 5回 | 4回 | |
| にじカフェの開催 | | 12回 | 3回 | |
| 障害福祉サービスの利用支援 | | | | |
| | サービス等利用計画の作成 | 36件 | 28件 | |
| | 障害児支援利用計画の作成 | 33件 | 22件 | |
| | モニタリングの実施 | 205回 | 88回 | |

(4) 在宅福祉サービス部門

ア 見守り事業の実施

ひとり暮らし高齢者等へ最大週5回夕食時に弁当をお届けし、安否確認を行いました。また、老人クラブが実施する友愛訪問活動を支援し、要支援者の早期発見と適切な機関へつなぐ体制づくりに努めました。

| 内 容 | | 令和元年度 | 平成 30 年度 | 平成 29 年度 |
|---------|--------|----------|----------|----------|
| 見守り配食事業 | 延べ利用者数 | 1,557 人 | 1,466 人 | 1,200 人 |
| | 配食数 | 17,240 食 | 15,879 食 | 13,073 食 |
| | 委託事業者数 | 3 事業所 | 3 事業所 | 2 事業所 |
| 友愛訪問活動 | 友愛訪問員数 | 7 人 | 7 人 | 12 人 |
| | 訪問対象者数 | 27 人 | 28 人 | 23 人 |
| | 延べ訪問回数 | 147 回 | 170 回 | 106 回 |

イ 居宅介護支援事業所の運営

介護保険法の指定事業所として、要介護状態及び要支援状態にある高齢者等が、居宅においてその有する能力に応じて自立した日常生活を営むことができるよう、ケアプランを作成し、サービス調整を行いました。

| 内 容 | | 令和元年度 | 平成 30 年度 | 平成 29 年度 |
|----------|--|--------|----------|----------|
| ケアプラン作成数 | | 482 件 | 473 件 | 429 件 |
| 【うち受託】 | | 【44 件】 | 【52 件】 | 【66 件】 |

ウ 訪問介護事業所の運営

介護保険法及び障害者総合支援法の指定事業所として、利用者の身体その他の状況及びその置かれている環境に応じて、身体介護、家事・生活援助及び移動支援サービスを行うホームヘルパーを派遣しました。

| 内 容 | | 令和元年度 | 平成 30 年度 | 平成 29 年度 |
|-------------|--|---------|----------|----------|
| ホームヘルパー派遣回数 | | 5,108 回 | 6,765 回 | 6,982 回 |
| 介護保険サービス | | 2,195 回 | 2,959 回 | 2,942 回 |
| 障害福祉サービス | | 2,560 回 | 3,450 回 | 3,694 回 |
| 移動支援 | | 320 回 | 347 回 | 346 回 |
| 養育支援（町受託事業） | | 33 回 | 9 回 | 0 回 |